

学校 教育 目標	「自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子」				
	【知】やってみよう・・・何事もチャレンジ(自ら課題を発見し、解決する過程を深められる子を育てます)				
	【公・開】あらわそう・・・自分の思い(地域と社会の変化に柔軟に対応し、自分の思いを様々な方法で表現できる子を育てます)				
	【徳】ふれあおう・・・自分も大切人も大切(地域の人や自然とのふれあいを大切に、豊かな人間関係を育める子を育てます)				
学校 概要	創立 32 周年	学校長 宮崎 美代子	副校長 増本 正己	2 学期制	一般学級: 26 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 852 人		主な関係校: 茅ヶ崎中学校 早淵中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <心身ともにたくましく生きる力> <自分づくりに関する力>	茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎台小学校 茅ヶ崎東小学校	○前向きに学習し向上心のある子ども ○努力して仲間づくりをする子ども ○地域とともに支えあう温かい子ども ・授業研テーマ「魅力ある茅ヶ崎中学校区づくり～特別支援の視点からの小中教科指導の工夫～」を推進。 ・年2回の授業参観・研究協議会の設定。 ・年2回のブロック小中一貫教育推進協議会で情報交換を実施。

中期 取組 目標	○学校教育目標を実現するために、子ども一人ひとりを大切にしながら活力と魅力あふれる学校づくりに努めます。 ・自己をコントロールする力と規範意識、を身につけるとともに、自己肯定感と自己有用感を感じることが出来る子どもを育成します。 ・学ぶことの楽しさ、体験することの楽しさを実感できる授業を目指し、教師力・授業力の向上を図ります。 ・地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。 ・校舎内外の美化と安全の確保に努めます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b> 担当 学力・教師力向上部会	①交換授業や少人数制個別指導など児童の実態に即した指導方法を効果的に取り入れ、基礎基本の定着を図る。②「できた」「わかった」と思える授業の実現を図るために板書やワークシートの工夫を行っていく。③国語の重点研を通して、言語活動の育成に取り組む。
<b>豊かな心</b> 担当 豊かな心育成部会	①全学級での道徳の授業公開を行い、保護者にも「道徳」について知ってもらえる機会を作る。②なかよし活動による異学年交流を行い、相手を思いやる心を育てる。③人権教育実践推進校として中学校ブロックで共通した願いをもった取組を行う。
<b>健やかな体</b> 担当 健康安全部会	①学校保健委員会の活動を通して健康について積極的に考える機会を作る。②食育推進委員会の活動を活発にし、食育の年間指導計画を明確にする。③短縄の実践や児童会主催の活動を通して、児童が運動に親しむ機会と場所を創っていく。
<b>児童指導</b> 担当 豊かな心育成部会	①配慮を用する児童の状況と指導方法を共有し、一貫した児童指導が行えるようにする。②アンケート調査を活用し、いじめや児童間トラブルの早期発見に努める。③YPアセスメントや横浜プログラムを行い、集団づくりに生かしていく。
<b>特別支援教育</b> 担当 豊かな心育成部会	①特別支援教育コーディネーターが複数になった利点を生かし、児童のアセスメントを綿密に行う。②保護者と丁寧面談し、ニーズを聞き取りながら支援方法を探っていく。③療育センター、養護学校等の外部機関からのアドバイスを受けて、合理的配慮の具体を見つけていく。
<b>地域連携 地域理解</b> 担当 ちがさき推進部会	①地域の伝統や文化を大事にしている方々との交流を行えるような単元開発を行い、学習に取り入れる。②地域コーディネーターの力も借りて、地域に眠っている材の開発を行う。
<b>安全管理</b> 担当 健康安全部会	①避難訓練に加えて、交通安全教室、不審者対応訓練、集団下校訓練等を行っていく。事前の綿密なシミュレーションをもって教職員の研修とする。②共通で使う場所や物をきれいにしよう、整理しようという気持ちを育てる。③校舎内外の整理整頓や危険個所の発見に努め、児童が安全に過ごせるように点検を怠らない。
<b>自分づくり (キャリア教育)</b> 担当 ちがさき推進部会推進部会	①なかよし活動で異学年交流を行ったり、地域の人と触れ合えるような「総合」学習に取り組む。②行事や学習活動の振り返りを大事にし、特に、友達のがんばっていたところを認め合えるような取組を行う。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①友人関係、集団作り、社会性の育成という点から見た本校の児童の課題を洗い出す。②一人ひとりが自己有用感をもてるように、授業や行事の中で活躍できる場面をつくっていく。③児童の小さな変容に気付けるよう、教職員のアンテナを高めていく。④初期対応に関する研修を行い、迅速な対応ができるスキルを養う。
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務・メンターチーム	①学年内での交換授業や教科担任を行い、常に自分の指導方法や指導技術を問い直す機会を作っていく。②メンターチームの取組を強化し、授業力の向上に努める。③会議の目的を明確化し、タイムマネジメント意識をもつ。④ミライムを効果的に活用し、情報の伝達を図る。